

漁場環境監視等強化対策事業

吉田 賢二・森川 太郎

貝毒被害を防止するため、貝毒および貝毒原因プランクトンの発生を監視するとともに、貝毒発生に関する情報の収集・伝達を行った。

方法

1. 貝毒原因プランクトンモニタリング調査

図1に示した調査定点(St.1,2)において、4月から翌年3月にかけて、毎月の定期調査を、4/28, 5/27, 6/25, 7/25, 8/25, 9/22, 10/29, 11/21, 12/19, 1/19, 2/17, 3/19 に実施した。

調査時には、採水バケツを用いて表層海水1Lを採水した。持ち帰った海水はメスシリンダーを用いて1L計量し、目合い20 μ mのプランクトンネットを用いて10mlに濃縮した。濃縮した検体は、貝毒原因プランクトン(麻痺性貝毒においては*Alexandrium*属および*Gymnodinium*属、下痢性貝毒においては*Dinophysis*属)を対象に、光学顕微鏡を用いた形態観察により同定し、細胞数を計数した。なお、調査結果は速やかに漁協および関係機関へ通知した。

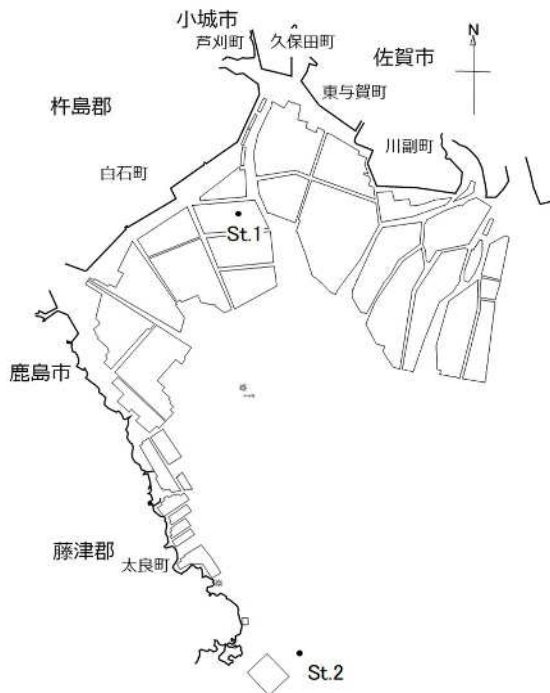


図1 貝毒発生監視調査定点

2. 貝毒モニタリング調査

佐賀県貝毒対策実施要領に基づき、アサリ、マガキを対象にした HPLC 法による麻痺性貝毒調査を行った。4月、5月は太良町地先のアサリを、2月は白石町地先のマガキを、3月は太良町地先のアサリと白石町地先マガキを各月1回実施した。なお、調査結果は速やかに漁協および関係機関へ通知した。

- ・分析部位：可食部
- ・分析方法：HPLC法(日本水産資源保護協会編「麻痺性貝毒 HPLC 分析法」)
- ・分析機器：超高速液体クロマトグラフ分析装置
日本ウォーターズ株式会社(イオンペアー溶液用ポンプ：Quaternary Solvent Manager, 反応液・中和液用ポンプ：Reagent Manager, 反応槽：Post Column Reaction Module, 蛍光検出器：FLR Detector)

結果

1. 貝毒原因プランクトンモニタリング調査

貝毒原因プランクトンの出現状況を表1~5に示す。期間中に確認された貝毒原因プランクトンは麻痺性貝毒原因種の *Alexandrium* 属と下痢性貝毒原因種の *Dinophysis* 属(4種)であった。*Alexandrium* 属は8月、9月に St.1 で確認され、細胞密度は20~25cells/Lであった(表1)。*Dinophysis acuminata* は4月、5月、8月、9月、12月、2月に確認され、細胞密度は10~180cells/Lであった(表2)。*Dinophysis caudata* は9~12月に確認され、細胞密度は10~220cells/Lであった(表3)。*Dinophysis fortii* は12月に確認され、細胞密度は10cells/Lであった(表4)。*Dinophysis rotundata* は12~2月に確認され、細胞密度は10~70cells/Lであった(表5)。

2. 貝毒モニタリング調査

貝毒モニタリング調査結果を表6に示す。分析した二枚貝の麻痺性貝毒は、いずれの地点、月においても佐賀県貝毒対策実施要領による注意体制基準値(2.0 MU/g)未満であった。

令和7年度の本海域における調査期間中の貝毒の発生件数は0件であった。

表1 *Alexandrium* spp. の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	0	0	0	0	25	20	0	0	0	0	0	0
2	竹崎島地先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表2 *Dinophysis acuminata* の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	140	10	0	0	15	10	0	0	10	0	20	0
2	竹崎島地先	180	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0

表3 *Dinophysis caudate* の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	0	0	0	0	0	90	10	0	0	0	0	0
2	竹崎島地先	0	0	0	0	0	220	60	90	10	0	0	0

表4 *Dinophysis fortii* の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0
2	竹崎島地先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表5 *Dinophysis rotundata* の出現状況 (単位: cells/L)

st. No.	地点名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	福富干拓地先	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20	0
2	竹崎島地先	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	70	0

表6 麻痺性貝毒モニタリング結果

調査内容	採取海域	貝の種類	採取月日	麻痺性貝毒量(MU/g) (HPLC法)
定期調査(4月)	太良町地先	アサリ	3月27日	<2.0
定期調査(5月)	太良町地先	アサリ	4月28日	<2.0
定期調査(2月)	白石地先	マガキ	2月12日	<2.0
定期調査(3月)	太良町地先	アサリ	3月9日	<2.0
	白石地先	マガキ	3月12日	<2.0